

別紙仕様書

1 品名・数量

汎用超音波画像診断装置 1 式

2 構成内容

汎用超音波画像診断装置本体 1 台

リニアプローブ 1 本

コンベックスプローブ 1 本

汎用超音波画像診断装置本体搭載用カート 1 台

白黒プリンタ 1 台

性能・機能の要件

汎用超音波画像診断装置は以下の要件を満たすこと。

1 汎用超音波画像診断装置本体

1-1 画像表示モニタが検査者もしくは手技を行う者に近くなるよう診断装置本体はモニター一体型のタイプであること。また、装置本体は、本体に取り付けられた自立スタンドによって自立すること。

1-2 Bモード、カラードプラ、パワードプラ、パルスドプラの機能を有すること。

1-3 画像表示モニタは、画像を高解像度で表示できることと、明るい手術室内でも視認性が落ちることがない10インチ以上のモニタを有すること。

1-4 持ち運びを考慮して、本体にバッテリー搭載が可能であること。

2 リニアプローブ

2-1 高分解能の画像で診断精度の向上を図るため、実効周波数帯域は4～20MHz程度であること。また、有効視野幅が約38mm程度であること。

3 コンベックスプローブ

3-1 高分解能の画像で診断精度の向上を図るため、実効周波数帯域は1～5MHz程度であること。

4 汎用超音波画像診断装置本体搭載用カート

4-1 超音波診断装置本体を載せるための専用カートであること。

5 白黒プリンタ

5-1 本体に連動した白黒プリンタを有すること。

6 その他

6-1 日本語の操作マニュアル（電子マニュアル）を1部付属すること。

6-2 納入作業は病院指示に従い医療業務を考慮のうえ十分注意して行うこと。

6-3 物品設置の際に点検・調整及び試験運転を行い、担当者に十分説明の上、引き渡すこと。